

創立100周年記念講演

島根県スポーツ競技力向上セミナー

本協会創立100周年を記念し、令和6年3月8日島根県民会館において、スポーツ指導者の指導力と全国を目指す意欲の向上を目的に、本県の選手強化の中心的役割を果たす指導者及びスポーツ関係者を集めセミナーを開催しました。

講師には、バスケットボール男子日本代表ヘッドコーチのトム・ホーバス氏、島根陸上競技協会強化委員長の清水禎宏氏を招き、自身の競技者や指導者としての経験を基にご講演をいただきました。

第1講演

テーマ 『トム・ホーバスの挑戦 ～戦う選手の育て方とチームづくり～』

講師 トム・ホーバス 氏
(バスケットボール男子日本代表ヘッドコーチ)



現役時代に日本リーグで4年連続の得点王やNBAでのプレーをはじめ、指導者としても女子日本代表を東京五輪(令和3年)で銀メダル獲得、そして男子日本代表をパリ五輪(令和6年)出場に導いたトム・ホーバス氏からチャレンジ精神やチーム作りについての考えをお聞きしました。

<以下ホーバス氏談>

- ・的確にコミュニケーションを図るため、通訳を介さず、自分の言葉で伝えることを重視します。仮に日本語を間違えても、それもコミュニケーションの一つと考え、間違いを恐れては十分な指導はできないと考えています。
- ・また、目標を設定し達成するために徹底的に信じてやり抜くことを信条としています。女子代表チームを指揮した時には目標を金メダルと設定しました。誰よりも金メダルを取れる気持ちは強かったです。「周囲が信じてくれなくても、選手とスタッフが自分たちの力を信じていれば実現できる」と、全員が同じ方向を向き、目標に突き進んでいくことで結果的に銀メダルを獲得することができました。
- ・チーム作りにおいても、選手一人ずつと目標を設定し役割を確認します。一人ひとりしっかりと向き合い、指導が一方通行にならないよう選手も監督に対して意見が言えるようなチームにしないといけないと考えています。
- ・他にも外国と日本との違いで、日本の指導者

全国を目指す意欲と指導力の向上！指導者の準備強化で競技力UP！

公益財団法人島根県スポーツ協会創立100周年記念
令和5年度
島根県
スポーツ競技力
向上セミナー

開催日 2024.3.8(土) 13:30-15:00(12:30-) 会場 島根県民会館 中ホール (定員300名)

主催 公益財団法人 島根県スポーツ協会

対象 県内各スポーツ団体の指導者、選手、関係者

定員 300名

参加費 無料

申込方法 二次券コードにてお申込みください。

申込締切 2月29日(木)

お問い合わせ 公益財団法人島根県スポーツ協会 競技スポーツ課 TEL.0852-60-5052

は褒めることをあまりしないことから、褒めること3～4割、注意6～7割が好ましいです。また、チームリーダーを決める場合は日本ではエース級の選手を選出するが、周りをよく見ている人がチームリーダーには向いているはずです。大きな功績がなくても気持ちがあれば十分だと考えます。



第2講演

テーマ 『2030島根かみあり国スポに向けての選手育成について』

講師 清水 禎宏 氏
(一般財団法人島根陸上競技協会強化委員長)



清水禎宏氏は陸上競技100mの選手として日本選手権連覇や、昭和57年に島根県で開催さ

れた「くにびき国体」で日本新記録を樹立される等、選手としての実績や、指導者として多くの全国上位者を育成された経歴をお持ちです。2030年に本県で開催される島根かみあり国スポに向けて、自らの経験と指導理論をもとに選手育成についての考えをお聞きました。

<以下清水氏談>

- ・「指導者として学び続けることの大切さ」と「指導者としての目標を持つこと」を大切にしています。目標には期限と具体的な数字を設定することで目標の達成をより具現化しています。
- ・また、良い指導者になるためには、良い指導者や仲間、選手に出会うことが必要で、これらは一生の宝物になると考えています。今でもこれまで関わってきた方との関係を大切にしながら指導に活かしています。



- ・良い選手が来たから頑張ろうでは遅く、目の前の選手のパフォーマンスが低い時こそさまざまな練習を試しておくことが重要で、可能性を秘めた選手に出会えた時に、すぐに実践できるよう日ごろから準備をしておくことが指導者には大切です。
- ・指導者として、心(情熱・信念・責任感)、技(コーチング)、体(知識・経験・感性)のバランスが大切です。努力を惜みず、夢はきつと叶う(Dreams come true!)と強い心をもって指導にあたってほしいと思います。

